



## 《ファンド概況》

基準価額(円・1万円当たり)	10,764
純資産総額(億円)	43
株式組入比率(%)	96.5
うち株式先物(%)	0.0
組入銘柄数	33
決算日	9/20
当初設定日	2000/09/28

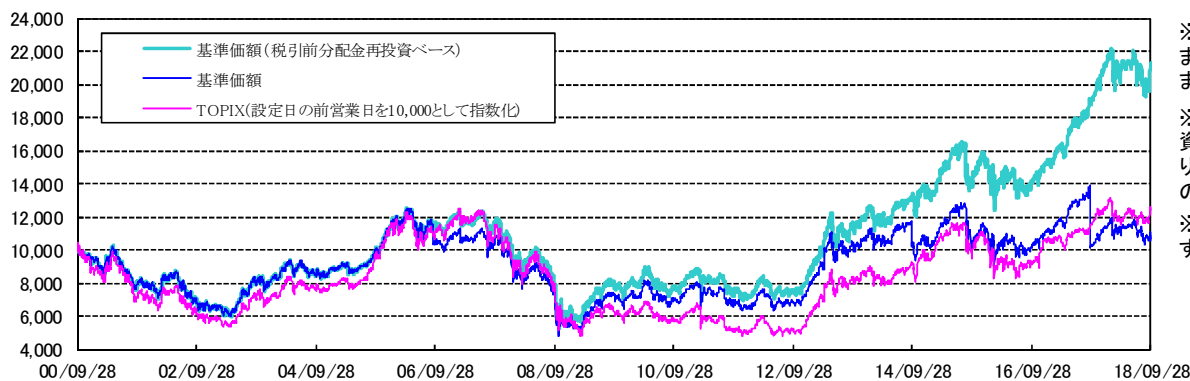
## 《期間別騰落率・税引前(%)》

	基準価額	TOPIX
1か月前比	+3.7	+4.7
3か月前比	▲0.9	+5.0
6か月前比	▲0.7	+5.9
1年前比	+9.9	+8.5
3年前比	+48.4	+28.8
設定来	+110.7	+25.5

## 《収益分配金・税引前(円)》

期(年月日)	分配金
第14期(14/9/22)	1,500
第15期(15/9/24)	700
第16期(16/9/20)	0
第17期(17/9/20)	3,600
第18期(18/9/20)	560
設定来合計	7,590

## 《基準価額の推移》



※TOPIXは参考指数です。  
※期間別騰落率は税引前分配金を再投資したものと仮定して計算しています。

※分配金は1万円当たりの金額で、直近5期分を掲載しています。

※TOPIXはベンチマークではありませんが、参考として掲載しています。

※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は信託報酬控除後であり、税引前分配金を再投資したものと計算しています。

※基準価額は信託報酬控除後です。

## 《運用概況》

## ◆市場動向

9月の国内株式市場は上旬において、為替のドル安円高を背景に下落する展開になりました。しかし中旬には為替の円高が一服する中、米国の対中追加関税が当初に比べて軽減されたことなどをを受けて米中通商政策に対する懸念が後退し、反発、続伸しました。下旬に入り過熱感の反動で調整する局面がありましたが、為替の円安推移を背景に企業業績に対する期待が高まったことを受け、上昇傾向の中で月末を迎えました。

## ◆運用方針

当ファンドの運用の特徴は、中長期的な視点に立った企業価値分析を行うことにあります。特に財務的要素に加えて、環境(E)、社会(S)、ガバナンス(G)といった非財務的要素を統合した分析を行います。企業の本質的価値を見極めサステナビリティ評価の高い企業を厳選し、安い株価で集中度を高めて買い、価値の成熟と株価の上昇を狙う運用を行います。

## ◆投資行動

今月は、スマートフォンの高機能化を支える製品に強みを持つ企業、中高価格帯(30~40歳代の平均年収700万円程度)の人材紹介分野での国内トップ企業、センサー等のFA機器の国内大手企業などの買い増しを行いました。一方で株価の上昇により投資魅力度が低下したことを理由に、アルプス技研、ショーボンドホールディングス、イーグル工業、ベルクを全売却しました。

## ◆運用成果と寄与銘柄

今月の当ファンドの基準価額は3.7%の上昇となりました。保有銘柄のうち、アルプス技研、セリア、堀場製作所などの株価下落がマイナスに寄与していますが、ソラスト、芝浦電子、日本M&Aセンターなどの株価上昇がプラスに寄与しています。

## ◆今後の運用方針

当面の国内株式市場は、安倍首相が3選したことで自然災害や消費増税対応の景気対策が期待できることなどから、当面は堅調な推移が予想されます。一方で貿易摩擦への懸念が繰り返される中で、その後は一進一退の展開になると想定されます。そうした中当ファンドでは、企業価値向上が中長期的な投資リターン拡大にとって最も重要な要素と考え、「事業の魅力度」と「競争優位性」、さらに「実体的なガバナンス」にフォーカスを当て経済動向に関わらず経営改善によって成長が見込める会社に厳選投資して行きます。

## R&amp;Iファンド大賞2018「投資信託/国内ESG」



「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業者ではなく、金融商品取引業者に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業者以外の業務)であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

## 2017年度グッドデザイン賞



グッドデザイン賞は、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞で、「Gマーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルとして広く親しまれています。

グッドデザイン賞は、当ファンドのビジネスモデル等を含めたデザインを公益財団法人日本デザイン振興会が評価するもので、当ファンドの運用実績等を評価するものでなく、また将来の運用実績等を示唆・保証するものではありません。

■本資料は、朝日ライフアセットマネジメント(以下、「当社」といいます。))が、当ファンドの運用の内容やリスク等を説明するために作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。■当ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性及び完全性を保証するものではありません。■本資料中に特定の有価証券(個別会社名)について記載することがありますが、本資料は当該特定の有価証券を推奨するものではありません。また、当ファンドにおいて当該有価証券の今後の保有を約束するものではありません。■本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■当ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。



## 《業種別構成比(%)》

順位	業種	構成比(%)
1	サービス業	29.4
2	小売業	18.3
3	電気機器	15.3
4	化学	14.4
5	機械	9.3
6	ガラス・土石製品	3.5
7	卸売業	2.2
8	輸送用機器	2.1
9	金属製品	2.1
10	医薬品	1.7
11	情報・通信業	1.6
12	水産・農林業	-
12	鉱業	-
12	建設業	-
12	食料品	-
12	繊維製品	-
12	パルプ・紙	-
12	石油・石炭製品	-
12	ゴム製品	-
12	鉄鋼	-
12	非鉄金属	-
12	精密機器	-
12	その他製品	-
12	電気・ガス業	-
12	陸運業	-
12	海運業	-
12	空運業	-
12	倉庫・運輸関連業	-
12	銀行業	-
12	証券・商品先物取引業	-
12	保険業	-
12	その他金融業	-
12	不動産業	-

## 《組入全銘柄一覧》

順位	コード	銘柄名	業種	構成比(%)	順位	コード	銘柄名	業種	構成比(%)
1	8920	東祥	サービス業	5.4	31	9928	ミロク情報サービス	情報・通信業	1.6
2	8876	リログループ	サービス業	4.7	32	6586	マキタ	機械	1.1
3	7453	良品計画	小売業	4.6	33	6645	オムロン	電気機器	1.0
4	9843	ニトリホールディングス	小売業	4.6					
5	6197	ソラスト	サービス業	4.6					
6	4206	アイカ工業	化学	4.4					
7	4975	JCU	化学	4.3					
8	6861	キーエンス	電気機器	4.3					
9	6957	芝浦電子	電気機器	4.0					
10	4290	プレステージ・インターナショナル	サービス業	3.8					
11	2127	日本M&Aセンター	サービス業	3.8					
12	6381	アネスト岩田	機械	3.7					
13	7943	ニチハ	ガラス・土石製品	3.5					
14	3091	ブロンコビリー	小売業	3.5					
15	2124	ジェイエイシークルートメント	サービス業	3.3					
16	3085	アークランドサービスホールディングス	小売業	3.0					
17	4189	KHネオケム	化学	2.9					
18	4626	太陽ホールディングス	化学	2.8					
19	6367	ダイキン工業	機械	2.7					
20	2782	セリア	小売業	2.6					
21	6592	マブチモーター	電気機器	2.4					
22	3360	シブヘルスケアホールディングス	卸売業	2.2					
23	9716	乃村工藝社	サービス業	2.2					
24	7203	トヨタ自動車	輸送用機器	2.1					
25	5929	三和ホールディングス	金属製品	2.1					
26	6929	日本セラミック	電気機器	1.9					
27	6284	日精イー・エス・ビー・機械	機械	1.7					
28	4536	参天製薬	医薬品	1.7					
29	6856	堀場製作所	電気機器	1.7					
30	4732	ユー・エス・エス	サービス業	1.7					

※ 構成比は現物株式ポートフォリオに占める比率、業種は東証33業種分類によります。

## 《銘柄紹介》

## ○キーエンス

生産現場の自動化を支える FA(ファクトリー・オートメーション)部品市場は景気サイクルの影響は受けるものの、世界的な生産年齢人口の減少に伴う人手不足に加え、省エネルギー、省資源、さらには品質向上の追求などを背景に、今後も需要の持続的な拡大が見込めると考えられます。またこの分野は、生産効率の向上を伴いユーザーの業績改善に直接貢献するため、高い収益性を確保できている事業です。中でも生産工程において原材料や部品、製品等の有無や違いを判別し、検出し、測定する FA センサ事業は、機器そのものを売るよりも、生産技術のプロであるエンジニアも気づかない改善提案を行い、現場の課題解決に直接貢献する高い付加価値を提供することが重要であると考えられます。

当社の競争優位性の源泉は、生産現場の課題解決に徹した営業・開発体制、FA センサの中でも「世界初」「業界初」という領域への集中、合理性を重視した組織文化、組織年齢の若さと活力等にあると考えられます。そしてこれらの強みによって国内で構築したビジネスモデルを、海外市場へ移植することに成功しており、その競争優位性は今後も維持向上していくことが可能であると考えられます。

当社はその経営理念である「最小の人と資本で最大の付加価値をあげる」ことを、事業を通じて実現している会社であり、合理性重視の徹底により、独自のビジネスモデルを構築し、経済動向に左右されない経営体質を構築しています。ガバナンスの観点から株主還元には課題があると考えられますが、資本効率は極めて高い水準で維持向上を続けています。また当社の徹底した合理主義の企業文化は、現場で起こり得る不正の排除を含めて様々なビジネスリスクを抑制する効果を持っていると考えられ、ビジネスを通じて生産現場の効率化に貢献し、株主価値の持続的拡大が期待できる企業です。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、当ファンドの運用の内容やリスク等を説明するために作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。■当ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料中に特定の有価証券(個別会社名)について記載することがありますが、本資料は当該特定の有価証券を推奨するものではありません。また、当ファンドにおいて当該有価証券の今後の保有をお約束するものではありません。■本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

株式への投資により、信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。

■ファンドの特色

- 国内の上場株式を主要投資対象とし、ビジネスを通じて社会的課題に積極的に取り組み、社会に貢献する企業の株式に投資します。
- 個別企業調査を基本としたボトムアップ・アプローチを重視した銘柄選択を行います。中長期的な視点に立って、価値ある銘柄を安く買い、価値の成熟と株価の上昇を待つ運用を行います。



資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

3. 信託報酬の一部を、社会的課題に取り組む団体に寄付します。

- ・ 寄付の金額は、ファンドの日々の純資産総額に応じて年0.1~0.2%の率を乗じて得た額とします。
- ・ 寄付先や寄付金額の具体的内容については、運用報告書等において開示しています。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、当ファンドの運用の内容やリスク等を説明するために作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。■当ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料中に特定の有価証券(個別会社名)について記載することがありますが、本資料は当該特定の有価証券を推奨するものではありません。また、当ファンドにおいて当該有価証券の今後の保有をお約束するものではありません。■本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。



## ■ SRIとは

SRIとは、Socially Responsible Investmentの略で、一般的には、投資の際に社会や環境の側面も考慮する投資手法と言われています。

あすのはねでは、長期的な運用成果を高めるため、この考えを取り入れています。

## ■ 協力調査機関について

企業の社会への貢献度については、ヴィジオ・ベルギー社<sup>※</sup>の協力により、企業の行動に影響を受ける人の立場から調査します。

※ヴィジオ・ベルギー社はベルギーにある社会的責任投資専門調査機関であり、日本人アナリストを中心にグローバルな視点から日本企業を調査しています。

ヴィジオ・ベルギー社は、金融商品取引業者としての登録を行っておらず、ファンドに対して有価証券の価値等または金融商品の価値等の分析に基づく投資判断の助言を行うものではありません。また、調査委託の中止、調査委託先の変更を行う場合があります。

## 投資リスク

ファンドは値動きのある有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の値動きなどの影響により、基準価額が下落することがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、これを割り込むことがあります。ファンドは預貯金と異なります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。

## ■ 基準価額の変動要因

### 《株価変動リスク》

企業の経営・財務状況の変化、国内外の政治、経済、社会情勢の変化等の影響を受けて株価が下落した場合には、ファンドの基準価額が下落する要因となります。ファンドが投資している企業が業績悪化や倒産等に陥った場合、その企業の株価は大きく下落し、ファンドの基準価額に大きな影響を及ぼすことがあります。

### 《信用リスク》

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が生じた場合またはそれが予想される場合には、それらの価格は下落し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## ■ その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。  
・分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり量が小さかった場合も同様です。

## ■ リスクの管理体制

ファンドのリスク管理は、社内規程やガイドライン等に基づき、運用部門のほか、管理部門およびコンプライアンス部門により行われています。また、リスク管理の状況は、委託会社の役員および各部門の代表者により構成されるリスク管理に関する委員会等において報告・検証され、必要に応じて改善される仕組みとなっています。



## 手続・手数料等

### ■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社へお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 ※販売会社へお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目から支払います。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金申込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	無期限(設定日:2000年9月28日)
決算日	毎年9月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※収益分配金をそのつど受け取るコースと自動的に再投資するコースがあります。自動的に再投資するコースを選択された場合の収益分配金は、税金が差し引かれた後、決算日の基準価額で再投資されます。

### ■ファンドの費用・税金

#### 《ファンドの費用》

##### ◆ 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に <b>3.24%(税抜3.0%)</b> を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額 ※詳しくは、販売会社へお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に <b>0.3%</b> の率を乗じて得た額

##### ◆ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に年 <b>1.9224%(税抜1.78%)</b> の率を乗じて得た額
その他の費用・手数料	以下の費用などがファンドから支払われます。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。 ・ファンドの監査費用(ファンドの日々の純資産総額に年0.005%(税抜)の率を乗じて得た額。ただし年40万円(税抜)を上限とします。) ※別途消費税等相当額がかかります。 ・有価証券売買時の売買委託手数料 ・先物・オプション取引等に要する費用

※ ファンドの費用(手数料等)の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

#### 《税金》

当ファンドは、課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。

原則として、個人投資者については、収益分配時には普通分配金に対して課税され、ご換金(解約)時および償還時には解約価額および償還価額から取得費(申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税相当額を含みます。)を控除した差益(譲渡所得)に対して課税されます。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

■本資料は、朝日ライフアセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、当ファンドの運用の内容やリスク等を説明するために作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。■当ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料中に特定の有価証券(個別会社名)について記載することがありますが、本資料は当該特定の有価証券を推奨するものではありません。また、当ファンドにおいて当該有価証券の今後の保有をお約束するものではありません。■本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。



《委託会社その他の関係法人》

委託会社 ファンドの運用の指図等を行います。
朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

受託会社 ファンドの財産の保管および管理等を行います。
株式会社りそな銀行

販売会社
● 販売会社一覧

①投資信託説明書(交付目論見書)の提供、受益権の募集の取扱い、解約請求の受け、収益分配金、償還金、解約代金の支払い等を行います。

Table with columns: 販売会社名, 登録番号, 加入協会 (日本証券業協会, 一般社団法人日本投資顧問業協会, 一般社団法人金融先物取引業協会, 一般社団法人第二種金融商品取引業協会). Rows list various financial institutions like 藍澤証券株式会社, あかつき証券株式会社, etc.

※(\*)の販売会社は、取次販売会社です。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、当ファンドの運用の内容やリスク等を説明するために作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。■当ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料中に特定の有価証券(個別会社名)について記載することがありますが、本資料は当該特定の有価証券を推奨するものではありません。また、当ファンドにおいて当該有価証券の今後の保有をお約束するものではありません。■本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。



②解約請求の受付け、収益分配金、償還金、解約代金の支払い等を行います。(受益権の募集の取扱いは行いません。)

販売会社名	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号	○		○	
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号	○	○	○	○
株式会社トマト銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第11号	○			
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第53号	○		○	

当社ではホームページにて、商品内容・運用実績等の  
情報提供サービスを行っております。

URL: <http://www.alamco.co.jp/>

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、当ファンドの運用の内容やリスク等を説明するために作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。■当ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料中に特定の有価証券(個別会社名)について記載することがありますが、本資料は当該特定の有価証券を推奨するものではありません。また、当ファンドにおいて当該有価証券の今後の保有をお約束するものではありません。■本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。1810008